

幼児の教育 第116巻 第4号 平成29年10月1日発行 ISSN0289-0836

子ども学の源流を次世代につなぐ

# 幼児の教育

[特集] 保育の「根本考察」にチャレンジ!

「仲間入り」をどう見るか

[実践] こども園をつくる

0歳児の心地よい園生活の実現に向けて

[連載] 保育における二人称的アプローチ

「聴き入る」ということ

第116巻 第4号 日本幼稚園協会

秋 2017

since 1901



(くさずもう)

「どっちがつよいかな」

子どもの情景

写真

子どもの情景 1

目次

自然が自然でなくなるとき 2

特集

保育の「根本考察」にチャレンジ！ 3

「仲間入り」をどう見るか 4

《座談会 2017》

現代版「仲間入り」 5

《アーカイブズ》

座談会

「仲間にはいない子 仲間にはいけない子」

―「幼児の教育」第三十一巻第十二号

(一九三二年)から― 14

《私はこう読む》

仲間にはいけないこと 仲間にはいけないこと

柴坂寿子 18

実践

地域で育てる

ふくやま子育て応援センター― 松島のり子 22

私の保育ノート

動きだすまでの時間 高橋陽子 26

こども園をつくる

―文京区立お茶の水女子大学こども園の

記録― Vol.6

○歳児の心地よい園生活の実現に向けて

粕川菜穂子 30

連載

保育における二人称的アプローチ ③

「聴き入る」ということ

佐伯胖 36

倉橋惣三との対話 ③

「森の幼稚園」という理想(その1)

浜口順子 40

# 目次

表紙の図柄は、お茶の水女子大学附属幼稚園内にある  
スタンドグラスの模様をデザイン化したものです。

## 文化

### 園文化をデザインする ③

人形劇 小さな人たちと もっと豊かな交わりを

永野むつみ

44

### 絵本だいすき!

絵本で共に育ち、生きる(2)

擲土久子

46

### 海外の保育・日本の保育

国際的な幼児教育を考える

関屋寛美

50

## 論者

### 「私たちの遊び」としてのオニ(こい)

田中浩司

54

## 論者

### インクルーシブな保育・教育に生かす

身体表現遊び

大橋さつき

59

## 子ども世界のひとびと

イベント・メディア情報・

読者投稿・編集後記 他

63

まだ

自然が自然でなくなるとき

自然は英語の nature でも naturally は「当たり前前」とか「必然」という意味にもなる。最近出版された関口はつ江編著『東日本大震災・放射能災害下の保育』（ミネルヴァ書房）を読み、人間の近辺にある自然が自然であり続けることは、ちっとも「当たり前」でも「必然」でもないことを思い知らされる。窓を開けると、子どもが「放射能がはいるよ」と保育者に言う。時間を短く限ってやっとな遊びをしても、子どもには砂や土を素手で触らないよう注意しなくてはならない。子どものためを思っていることが、本当にいいことなのか悩み考えてきた五年間の記録だ。

約百年前「森の幼稚園」を夢見た倉橋惣三はその状況をどう見るのだろうか(公写の拙文参照)。明治末に彼は、急激に都会化する社会で子どもの健全な発達に侵され遊び場が奪われる環境を憂え、小児保健や社会教育の必要と、自然豊かな、「幼稚園臭く」ない環境で幼児が育つことの重要性を論じた。その根本は、子どもの生活がさながらであり、「不自然でない」こと。フクシマに象徴されるような、子どもを守るために別の「不自然」な状況に子どもを追い込まざるを得ないという循環。私たち共通の問題である。(浜口)

## 編集後記

新たな出会いの春から夏休みを経て秋になると、子どもたちの友達関係の育ちが気になるものです。そこで、今号の特集「保育の『根本考察』にチャレンジ!」では、「仲間入り」をテーマに座談会を持ちました。

90年近く前の座談会を読んでいると、先生方の率直というか直截な物言いに、ドキッとさせられ、なんだかスカッともします。幼稚園や保育所の先生というと、ホンワカとした優しいイメージがありますが、物事の本質を鋭く捉え、的確にズバッと語る姿勢は、現在の幼稚園での園内研究会にも引き継がれているように思います。

私事ですが今年の4月に、担任から、園の運営と先生たちを後支える立場に変わりました。年度初めの子ども同様、環境が変わり新しい仲間と出会う等の中で、見えてくるもの、気づくことが変わると

いう体験をしました。自分の定位置からだけ見ていたことを相手の側から見るのが少し増えたのかもかもしれません。そう思うと、子どもは私たち大人よりも、相手の立場、相手の気持ちをくみ取って感じることにずっと優れていることにも気づかされます。

関屋寛美先生の「国際的な幼児教育を考える」(海外の保育・日本の保育)と、大橋さつき先生の「インクルーシブな保育・教育に生かす身体表現遊び」(論考)。グローバルな視点で考えさせられる2本の記事の中に、「いろいろな答えがあってもよい質問の仕方をする」「答えが一つでない身体表現活動の要素を生かす」という、呼応するような内容の表現がありました。乳幼児期の柔軟な発想、創造性を育てることを大切にしたいという思いが、いろいろな場で共有され、大事にされていることを改めて感じました。(KE)

## 次号予告 幼児の教育 冬号 2017年12月刊行予定

新企画、新連載が好評! 充実した内容でお届けします。

**特集** 保育の「根本考察」にチャレンジ! 4  
— 表現の教材を考える — 横 英子氏ほか

**実践** 「地域で育てる」 高齢男性による地域子育て支援

**報告** J. Tobin教授と林 安希子さんを迎えて

※タイトル内容が変更になる場合もあります。

## 幼児の教育 秋号 第116巻 第4号

平成29年10月1日発行

編集発行人/浜口順子

編集担当/田中恭子

発行所/日本幼稚園協会

〒112-8610

東京都文京区大塚2-1-1

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発売所/株式会社フレーベル館

電話:03-5395-6604(編集)

振替/00190-2-19640

印刷所/図書印刷株式会社

定価/本体880円+税

©日本幼稚園協会 2017 Printed in Japan

編集委員/上坂元絵里

菊地知子

佐藤寛子

杉浦真紀子

松島のり子

編集協力/フレーベル館

●ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613(営業)●

## すべての保育者、必携！

# ここがポイント！ 3法令 ガイドブック

—新しい『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』の理解のために—

無藤 隆 汐見稔幸 砂上史子 / 著

平成 29 年 3 月告示、平成 30 年 4 月実施の 3 法令の条文を、ていねいに読み解きます。いわゆる「3つの柱」「10の姿」などのキーワードを、条文と関連付けて理解できるので、実用性抜群！ 研修会、勉強会の際にあると便利です。



全 288 ページ 21×15cm  
定価 本体 926 円＋税

109-65 ISBN978-4-577-81425-3

## 特徴①

3 法令を学ぶために必要なことがこの 1 冊に

1 冊にまとまっているので、持ち運びにも便利です。

## 特徴②

条文のポイントを、ていねいにわかりやすく解説

改訂(定)作業の際、中心的な役割を担った 3 人の先生方が執筆しているので、条文で伝えたいことがしっかりわかります。

## 特徴③

新旧条文、法令どうしの比較ができます

3 法令とも新旧比較表を掲載しています。相違点などを確認することができます。

※画像、内容に変更になる場合があります。



## フレーベル館 110 周年企画

倉橋惣三を旅する  
21世紀型  
保育の探求

大豆生田啓友・編著

現代の保育実践や対談を通して、倉橋の保育論に今一度立ち返り、日本の21世紀型保育を探求します。新しい時代を切り開く、保育の真と新を見据えた実践集です。



全 152 ページ 26×18cm  
定価 本体 2,600 円＋税  
109-66 ISBN978-4-577-81428-4

倉橋惣三を旅する  
小さな太陽

倉橋惣三・言葉 小西貴士・写真  
大豆生田啓友・選

今も昔も変わらず子どもたちは「小さな太陽」であり、私たちの「希望」一。『育ての心』他の倉橋惣三の詩情豊かな子ども観を、小西貴士氏の写真でイメージ化しています。



全 48 ページ 26×18cm  
定価 本体 1,300 円＋税  
109-67 ISBN978-4-577-81429-1